

学校教育目標	志に生きる ～心豊かでたくましく実践力のある生徒の育成～
育成を目指す資質・能力	自ら進んで学習する実践力を育む

	学力状況について(2年生)	学習状況について(3年生)
生徒の課題	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5教科で、目標値を全て上回っている。 ○「領域」・「観点」は、4教科で全国・大分県の正答率をすべて上回っている。 ○国語が「領域」で「書くこと」、「観点」で「関心・意欲・態度」、「書く能力」、「問題の内容」で「レポートを書く」、「作文」が県の正答率を下回っており、単元を通して、様々な形で「書く」ことを経験させていく必要がある。また、グループ活動を通し、自分の中の思い、考えを言葉にし、伝える授業展開を積極的に取り入れていく必要がある。 	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語は、正答率が全国・大分県の平均を約3.4%上回る結果となった。特に、「書くこと」の正答率は6.3%、「関心・意欲・態度」は5.5%と高かった。一方で、「話すこと・読むこと」については、全国平均は上回っているものの、大分県平均を少し下回るなど、本校生徒の課題が顕著に表れている。 ○数学は全体の正答率、領域別・観点別の正答率は全ての領域において全国平均・大分県平均を上回っている。(領域別の図形のみ、わずかに全国平均に達していない)領域別にみると「数と式」の正答率が、大分県・全国平均と比べ約4.5%高く、「資料の活用」の正答率が、大分県・全国平均と比べ約7%高くなっている。観点別正答率では「技能」が全国平均より8.1%高くなっている。改善方法として、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業展開を今後も継続して行っていく。
	<p>これまでの学力向上の取組に対する生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学校評価アンケートから「めあて・課題を確かめ、見通しをもって学習に取り組めた」に94.1%、「授業に興味をもって取り組めた」に91.3%が肯定的評価であり、90%以上の目標値を達成している。 ○「他の人の意見や考えにふれ、自らの考えを広げたり、深めたりすることができた」に2年生では92.1%と90%以上の目標値を達成しているが、1年生86.7%、3年生89.2%と目標値に届かず、全体としても89.3%と目標値を下回っている。 ○「自ら課題を解決しようと自主的に取り組めた」に2年生は94.1%と90%以上の目標値を達成しているが、1・3年生は85.8%、84.2%と目標値に届かず、全体としても88.2%と目標値を下回っている。 	
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「1時間完結型授業・板書の構造化を意識した授業の実践」は、91.3%が実践できたと答え、目標値を達成している。 ○「話し合いや協働的な活動のある授業実践ができた」は、82.6%にとどまり、90%以上の目標値を下回っている。 ○「自主的に取り組む学習の場を取り入れた授業実践ができた」は、82.6%に留まり、90%以上の目標値に到達していない。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生：志タイムは、集中して読書ができている。視写(週1回)に集中して取り組むことができる。毎日ノートが定着してきた。 ○2年生：志タイムは、集中して読書や視写、5教科のワークへの取組ができている。ほとんどの生徒が毎日ノートを提出できている。テストに向けて早めに取り組み始める姿勢が見られた。 ○3年生：志タイムは、計画表にそって、概ねサポート5教科の取り組むことができている。家庭学習の習慣が定着し、定着ノートと毎日ノートをほとんどの生徒が提出できている。ノートの内容が充実している生徒が増えてきている。 	

学力に関する達成指標

定期テスト等で下位層(正答率40%未満)の生徒の割合が12%以内

